

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

No.1 嬉野市議会議員 大島 恒典

実施月日	平成 29 年 10 月 30 日		
実施時間	9 時 30 分より 11 時まで		
調査先	株式会社 三菱総合研究所		
調査所在	東京都千代田区永田町2-10-3		
調査の目的	データ活用で変わる社会		
調査先担当者	主席研究員 村上 文洋 氏		
内容・結果等	<p>今後進んでいくであろう AI の活用についての研修を行った。なぜ今 AI が注目されているのか、国内の生産年齢人口の減少や少子化による問題で国が衰退してしまう、それを防ぐには国民一人当たりの生産性を上げていくしかなく、それをサポートしてくれるのが AI であるとのことであった。行政に関してはひっ迫していく財政事情の中で発想の転換を図るべきであり、行政特有の自前主義をやめ、民間サービスを利用したデータ活用を行うべきだとのことであった。現在、国会における質問に対する答弁書づくりにも AI が使われ始めていることには驚いた。三菱総研では、自治体における行政サービスの 6 割ほどは同じようなサービスでもあり、AI が活用できないか全国 46 の自治体とともに行政情報標準化・AI 活用研究会を今年度 7 月に設立されている。嬉野市としても勉強していく価値はあるものといえる。</p>		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 ( 円 )
	旅費・宿泊費		45,440
	研修費		0
		合 計	

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。  
会議や研修等の資料についても整理保管すること。